

2023年10月6日

裾野市地域公共交通活性化協議会委員各位

富士急シティバス株式会社

裾野市内当社路線バスの運行状況について

1.概略

当社の一般路線バス事業は、1995年3月以降、28年間運賃改定を行うことなく、国・静岡県・沿線市町からの補助金をいただくとともに、経営努力を続け、他の事業（高速バス・貸切バス）から内部補填をすることで、生活路線の維持に努めて参りました。

しかしながら、今後の事業の継続性と安全投資を適切に行える環境整備の為、現状の路線バス運行を見直すことが急務となっております。

当社といたしましては、地域住民様への影響を最小限に収めるよう、本年度は準備期間として次年度4月からの路線見直しをさせていただきますのでご承知おきください。

2.当社の収支状況

2022年収支状況の下表のとおりです。

	収益	経費	損益
一般路線バス事業	629,510千円	754,741千円	△125,231千円

上記収益額には国交省および静岡県・沿線市町からの補助金130,183千円を含みます

3.町内系統の収支状況

裾野市を通過する9系統のうち9系統が赤字（補助後）となっております。

2022年度実績	裾野市内分			他市町走行分 含む参考値
	黒字系統	赤字系統	合計	
利用者数	0人	163,916人	163,916人	—
系統数(割合%)	0系統	9系統	9系統	9系統
補助金	国交省	—	9,353千円	13,241千円
	静岡県	—	5,543千円	7,870千円
	裾野市	—	0千円	0千円
	他市町	—	162千円	408千円
補助後収支	—	△23,554千円	△23,554千円	△59,224千円

利用者数は系統全体の年間の数値です。

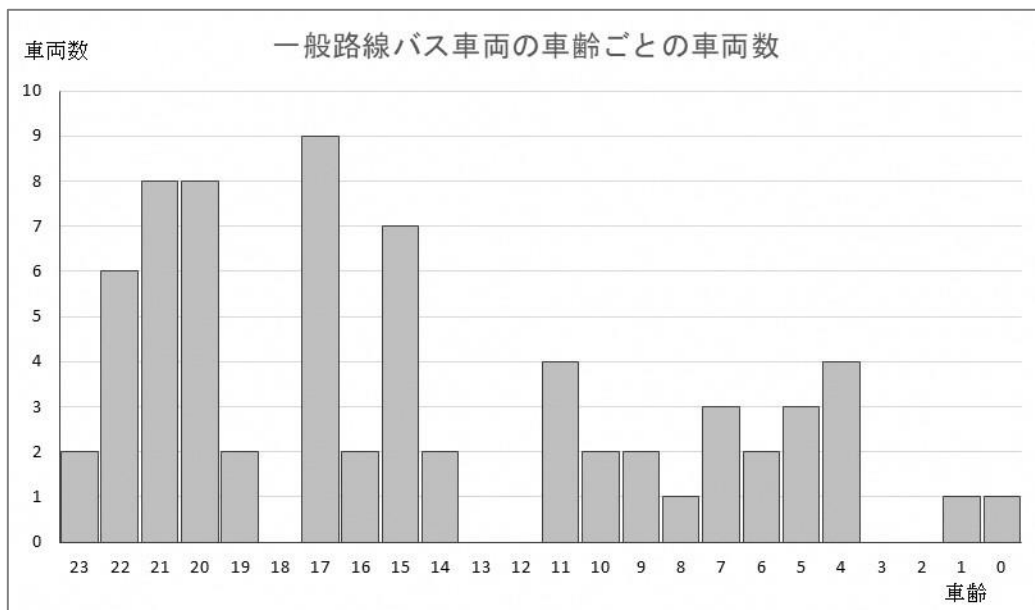
裾野市内の収支額および国・県の補助金額は、系統ごとの町内運行キロ程に基づき案分。

なお、国庫補助の内3,258千円(全体7,202千円)は、コロナ禍による要件緩和補助となります。

裾野市内循環(2系統)および岩波循環は上記に含んでおりません(収支約△510千円)

4.当社の路線バス車両の状況

当社の一般路線バス車両は、平均車齢は 14.7 年となっており、これは地域の平均値(13.6 年)よりも古い車両が多いことを示しています。また、下記グラフのように、15 年以上使用している車両が 44 両 (64%) と半数以上になっています。



安全対策として、ドライブレコーダーは全社に搭載しております。なお、ドライバー異常時対応システム搭載車両は 3 両です。また、電気バスを 1 両導入しています。

5.運転者人員の確保状況について

働き方改革関連法による、いわゆる「運送業の 2024 年」により労働時間の規制が強化されることから、現状のダイヤを維持するために必要な運転者人員は増加し、運転者がますます不足しています。

一方、全国的にも二種免許を所有するドライバーの数は年々減少しており、当社に限らず、バス業界では人員確保に苦慮しております。当社でも二種免許の取得支援による新規人材確保などは行っておりますが、定年退職を含めた退職者数に対して、新規採用者数は不足している状況です。

6.今後について

地元行政とも意向のご確認をさせていただき、路線バスの見直し（退出・統廃合等の合理化）を 2024 年 4 月に実施いたしますので、地域住民への影響を最小限に納められるよう、引き続き協議のご対応をお願いいたします。

以上